

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成28年12月15日

**【四半期会計期間】** 第15期第2四半期(自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)

**【会社名】** 株式会社ビューティガレッジ

**【英訳名】** BEAUTY GARAGE Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役CEO 野村 秀輝

**【本店の所在の場所】** 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

**【電話番号】** 03 - 5752 - 3897

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

**【最寄りの連絡場所】** 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

**【電話番号】** 03 - 5752 - 3897

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第2四半期 連結累計期間	第15期 第2四半期 連結累計期間	第14期
会計期間	自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日	自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日	自 平成27年5月1日 至 平成28年4月30日
売上高 (百万円)	4,126	4,632	8,398
経常利益 (百万円)	172	251	419
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	108	160	266
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	103	159	262
純資産額 (百万円)	1,592	1,876	1,751
総資産額 (百万円)	3,026	3,488	3,412
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	18.19	26.79	44.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	17.47	25.68	43.07
自己資本比率 (%)	52.5	53.7	51.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	24	80	240
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	53	128	73
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	14	101	91
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	825	946	1,096

回次	第14期 第2四半期 連結会計期間	第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日	自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	11.33	17.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景気、雇用・所得環境は総じて改善傾向にあります。が、為替や株価の変動懸念などもあり、国内景気は依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。美容業界におきましても、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン経営において厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループではビューティサロン向け「開業支援」から「開業+経営支援」へのサービス領域を拡大することを目的として、各種取組を継続的に実施しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,632,049千円（前年同期比12.2%増）、売上総利益は1,548,611千円（前年同期比17.1%増）となりました。

第2四半期連結累計期間には、美容業界最大のイベント「Beauty World Japan2016」への出展、通販カタログ誌3種の発刊、福岡支店ショールームのリニューアル移転、ネイル業界最大のイベント「Nail EXPO2016」への出展など積極的なプロモーション施策を実施しながらも、営業利益は278,078千円（前年同期比57.3%増）と大幅に伸長しました。

一方、平成28年7月26日付で当社株式の上場市場をマザーズ市場から第一部市場へ変更したことによる市場変更費用16,770千円、為替予約に対する評価損9,779千円を計上したこともあり、経常利益は251,562千円（前年同期比45.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は160,063千円（前年同期比47.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由売上高は物販事業売上高の6割超を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特に、スマホ専用ECサイトやスマホ発注アプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しており、モバイル経由全体（スマホECサイト+スマホアプリ+携帯ECサイト）の売上高は前年同期比49.5%増と大幅に伸長しました。

登録会員数は296,504口座（前年同期比14.4%増）、アクティブユーザー数（過去1年間で1回以上購入したユーザー数）は86,932口座（前年同期比5.6%増）となりましたが、過去1年間で6回以上購入したロイヤルユーザー数は前年同期比24.3%増の17,550口座と大幅に増加しており、リピート顧客の増加が顕著となりました。

当社はリピート商材の拡充による「フロー&ストック型収益構造」への転換を推し進めており、当第2四半期連結累計期間におきましても、特に理美容化粧品やネイル・まつ毛材料の売上が好調に伸長したことから、化粧品・材料の売上高は前年同期に比べ22.8%増加し、物販事業全体の売上高の前年同期比（12.6%増）を大幅に上回りました。

また、ここ数年来の為替レートにおける円安トレンドによって、当社の物販事業の売上総利益率は長らく低下傾向にありましたが、円高傾向になったこともあり、前年同期は35.2%だった売上総利益率は37.7%に改善いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,566,757千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は324,557千円（前年同期比58.3%増）となりました。

#### 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

引き続き積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めており、当事業の売上高は935,265千円（前年同期比15.3%増）となりましたが、今後の更なる案件獲得のためにも継続的にデザイナーの増員を行っていることからセグメント利益は40,938千円（前年同期比5.7%減）となりました。

#### その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、保険サービス（前年同期比5.3%増）、不動産仲介サービス（前年同期比9.4%増）は堅調に推移したものの、集客支援サービス（前年同期比26.0%減）、講習会・アカデミーサービス（前年同期比28.2%減）などが伸び悩んだことから、当事業の売上高は130,027千円（前年同期比12.5%減）、セグメント利益は13,524千円（前年同期比54.2%減）となっております。

## (2) 財政状態の分析

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、3,052,533千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加23,794千円、商品の増加15,206千円、仕掛品の増加18,195千円及び未着品の増加16,677千円があったものの、現金及び預金の減少149,473千円があったことによるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて34.8%増加し、436,005千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加15,669千円及び無形固定資産の増加89,276千円によるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、1,403,248千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加77,070千円及びその他流動負債の増加31,873千円があったものの、買掛金の減少125,025千円及び一年以内返済予定の長期借入金の減少17,548千円があったことによるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて15.2%減少し、208,418千円となりました。これは、主に長期借入金の減少42,694千円によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7.2%増加し、1,876,873千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少33,463千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加160,063千円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ150,073千円減少し、946,367千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、80,080千円（前年同期は24,884千円の資金増加）となりました。これは、主に法人税等の支払額78,133千円、たな卸資産の増加33,402千円、仕入債務の減少125,025千円及び売上債権の増加23,974千円があったものの、税金等調整前四半期純利益251,695千円の計上、前受金の増加86,333千円及びその他の引当金の増加77,260千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、128,579千円（前年同期は53,349千円の資金減少）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出96,760千円、有形固定資産の取得による支出28,492千円及び投資有価証券の取得による支出10,005千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、101,712千円（前年同期は14,588千円の資金増加）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出60,242千円、配当金の支払額33,470千円及び短期借入金の返済による支出7,500千円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	822,454	+15.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
物販事業	2,245,233	+3.5
その他周辺ソリューション事業	37,891	8.4
合計	2,283,124	+3.2

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	891,234	+13.2	208,492	+24.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	販売高(千円)		前年同四半期比(%)
		前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	
物販事業		3,166,986	3,566,757	+12.6
	理美容機器	2,151,009	2,319,278	+7.8
	化粧品等	1,015,977	1,247,479	+22.8
店舗設計事業		811,203	935,265	+15.3
その他周辺ソリューション事業		148,668	130,027	12.5
合計		4,126,858	4,632,049	+12.2

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,160,000
計	21,160,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年12月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,976,000	5,976,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	5,976,000	5,976,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年8月1日～ 平成28年10月31日		5,976,000		269,745		221,012

## (6) 【大株主の状況】

平成28年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野村 秀輝	東京都世田谷区	1,800,000	30.1
供田 修一	東京都杉並区	770,000	12.8
野村 貴久	東京都世田谷区	290,000	4.8
高橋 慧	東京都新宿区	270,000	4.5
樺島 義明	東京都中央区	250,000	4.1
GOLDMAN SACHS & CO.REG (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社 代表取 締役社長 持田昌典)	200 WEST STREET NEW YORK,NY,USA (東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒルズ森タワー)	225,000	3.7
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY (常任代理人 香港上海銀行東 京支店 カストディ業務部 Senior Manajor,Operation 小松 原英太郎)	50 BANK STREET CANARY WH ARF LONDON E14 5NT,UK (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	146,200	2.4
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	118,100	1.9
森實 厚裕	愛知県大府市	100,000	1.6
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	1 ANGEL LANE,LONDON,EC 4R 3AB,UNITED KINGDOM	96,900	1.6
計		4,066,200	68.0

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成28年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,975,300	59,753	単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	5,976,000		
総株主の議決権		59,753	

## 【自己株式等】

平成28年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ビューティガ レッジ	東京都世田谷区桜新町一丁 目34番25号	400		400	0.0
計		400		400	0.0

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年8月1日から平成28年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年5月1日から平成28年10月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,101,060	951,587
受取手形及び売掛金	689,499	713,293
商品	983,771	998,978
仕掛品	22,931	41,127
その他	302,416	361,279
貸倒引当金	10,978	13,732
流動資産合計	3,088,700	3,052,533
固定資産		
有形固定資産	79,656	95,325
無形固定資産		
ソフトウェア	41,817	38,394
ソフトウェア仮勘定	-	92,700
その他	116	116
無形固定資産合計	41,933	131,210
投資その他の資産	201,887	209,469
固定資産合計	323,478	436,005
資産合計	3,412,179	3,488,539
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	631,913	506,888
短期借入金	7,500	-
1年内返済予定の長期借入金	112,136	94,588
未払法人税等	84,784	126,953
賞与引当金	27,920	104,990
製品保証引当金	15,153	13,487
受注損失引当金	1,154	1,345
株主優待引当金	3,046	1,620
資産除去債務	576	21
その他	531,122	553,355
流動負債合計	1,415,307	1,403,248
固定負債		
長期借入金	139,314	96,620
ポイント引当金	44,194	48,890
資産除去債務	23,641	23,722
その他	38,483	39,185
固定負債合計	245,633	208,418
負債合計	1,660,940	1,611,666
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	269,745	269,745
資本剰余金	221,012	220,512
利益剰余金	1,255,749	1,382,349
自己株式	202	202
株主資本合計	1,746,303	1,872,403
新株予約権	236	236
非支配株主持分	4,698	4,233
純資産合計	1,751,238	1,876,873
負債純資産合計	3,412,179	3,488,539

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	4,126,858	4,632,049
売上原価	2,804,728	3,083,438
売上総利益	1,322,129	1,548,611
販売費及び一般管理費	1 1,145,311	1 1,270,533
営業利益	176,817	278,078
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	22
受取手数料	3,724	627
その他	1,579	843
営業外収益合計	5,378	1,493
営業外費用		
支払利息	620	450
為替差損	6,540	9,779
市場変更費用	-	16,770
その他	2,350	1,009
営業外費用合計	9,510	28,008
経常利益	172,686	251,562
特別利益		
固定資産売却益	184	132
特別利益合計	184	132
税金等調整前四半期純利益	172,870	251,695
法人税、住民税及び事業税	94,897	120,092
法人税等調整額	25,617	27,995
法人税等合計	69,280	92,097
四半期純利益	103,591	159,598
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	5,071	465
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,662	160,063

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	103,591	159,598
四半期包括利益	103,591	159,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,662	160,063
非支配株主に係る四半期包括利益	5,071	465

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	172,870	251,695
減価償却費	20,610	17,432
貸倒引当金の増減額(は減少)	385	2,754
ポイント引当金の増減額(は減少)	5,350	4,695
製品保証引当金の増減額(は減少)	3,691	1,666
株主優待引当金の増減額(は減少)	-	1,426
その他の引当金の増減額(は減少)	75,527	77,260
受取利息及び受取配当金	75	22
支払利息	620	450
有形固定資産除売却損益(は益)	184	132
売上債権の増減額(は増加)	6,369	23,794
たな卸資産の増減額(は増加)	147,807	33,402
仕入債務の増減額(は減少)	906	125,025
未払金の増減額(は減少)	26,018	6,138
前受金の増減額(は減少)	41,997	86,333
その他	60,030	90,346
小計	129,509	158,667
利息及び配当金の受取額	75	22
利息及び保証料の支払額	615	475
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	104,084	78,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,884	80,080
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	480	600
有形固定資産の取得による支出	15,506	28,492
有形固定資産の売却による収入	210	150
無形固定資産の取得による支出	1,308	96,760
投資有価証券の取得による支出	32,000	10,005
関係会社株式の取得による支出	-	3,060
敷金保証金の差入による支出	12,121	5,667
敷金保証金の回収による収入	9,313	17,195
資産除去債務の履行による支出	677	558
その他	780	780
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,349	128,579
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	15,000	-
短期借入金の返済による支出	12,500	7,500
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	60,460	60,242
株式の発行による収入	1,125	-
配当金の支払額	28,576	33,470
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	500
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,588	101,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	138
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	13,667	150,073
現金及び現金同等物の期首残高	838,748	1,096,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 825,080	1 946,367

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)
給料手当	280,844千円	294,896千円
賞与引当金繰入額	66,798 "	69,072 "
貸倒引当金繰入額	386 "	2,805 "
ポイント引当金繰入額	35,434 "	44,094 "
製品保証引当金繰入額	19,539 "	11,016 "
株主優待引当金繰入額	"	1,620 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)
現金及び預金	825,080千円	951,587千円
預入期間が3か月を超える定期預金	"	5,220 "
現金及び現金同等物	825,080千円	946,367千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年7月24日 定時株主総会	普通株式	28,658	4.80	平成27年4月30日	平成27年7月27日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年7月27日 定時株主総会	普通株式	33,463	5.60	平成28年4月30日	平成28年7月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,166,986	811,203	148,668	4,126,858		4,126,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,618	14,985	6,296	81,900	81,900	
計	3,227,605	826,189	154,964	4,208,758	81,900	4,126,858
セグメント利益	204,973	43,406	29,503	277,883	101,065	176,817

- (注) 1. セグメント利益の調整額 101,065千円には、セグメント間取引消去9,987千円、未実現利益の調整額1,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 109,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,566,757	935,265	130,027	4,632,049		4,632,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96,480	12,572	13,800	122,853	122,853	
計	3,663,237	947,838	143,827	4,754,903	122,853	4,632,049
セグメント利益	324,557	40,938	13,524	379,021	100,943	278,078

- (注) 1. セグメント利益の調整額 100,943千円には、セグメント間取引消去11,789千円、未実現利益の調整額6千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 112,725千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18.19 円	26.79 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	108,662	160,063
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	108,662	160,063
普通株式の期中平均株式数(株)	5,975,024	5,975,595
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	17.47 円	25.68 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	244,356	256,401
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年12月15日

株式会社 ビューティガレッジ  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	上	亮	比	呂
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	淡	島	國	和	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの平成28年5月1日から平成29年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年8月1日から平成28年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年5月1日から平成28年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の平成28年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。